

# 32 阪和

福島営業所のみなさん

## 「なんとか地元の力になりたい」 そう考えてこの仕事を選んだ

1Fのある福島県浜通りは、内陸部に比べると冬の冷え込みは厳しくありませんが、それでも冬には気温が氷点下になります。そこで大切なのが、原子炉の冷却水や建屋に残っている滞留水が凍らないように保温すること。今回は、保温工事を担当する阪和のみなさんにお話をうかがいました。

— 1Fでのお仕事内容を教えてください。

**海津さん**：原子力発電所の保温工事というのは、高温の蒸気を冷やさないようにする工事が主です。ところが、1Fでは発電をしていません。ですので1Fでの保温工事とは、原子炉を冷やすための冷却水などが凍らないようにするための工事です。

**石嶋さん**：私は、冷却水配管、滞留水移送配管、地下水移送配管を通る水が凍らないように、凍結防止材と呼ばれる資材を取り付ける仕事を主にやっています。

**鈴木さん**：2016年10月から、板金の技術を活用して汚染水タンクに雨どいを取り付ける作業をしています。雨どいがないと、雨水がそのまま地面に落ちてしまい、汚染水になる



最近山登りを始めた遠藤さん。富士山には2回登っている

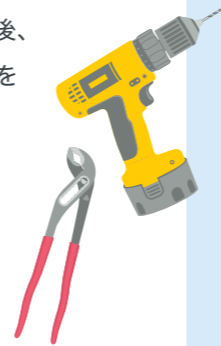
おそれがあるからです。

**遠藤さん**：私は以前、歯科技工士をしていました。出身は富岡町で、自宅も仕事場も避難区域内にありました。しばらくしてから、帰れない自宅を思ううちに「なんとか地元の力になりたい」と考えるようになったのです。その後、知り合いがいる阪和に入社し、今は主に雨水を移送する配管の保温工事をしています。

### 家族に話せることが大きなやりがい

— 今の仕事にやりがいを感じますか。

**石嶋さん**：1Fの工事はよくテレビに取り上げられます。この前も、テレビで放映されたのを見て、「自分がこれに携わった」と思い、胸がいっぱいになりました。家族にも、この配管は自分がやったんだと話せるのが、大きなやりがいです。



### お勤め先

#### 株式会社阪和

1939年創業。保温・保冷技術の専門家集団として、火力・原子力発電所などの大規模な施設で熱エネルギーの有効利用に取り組んでいる。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください  
URL: <http://1f-all.jp/interview/32/>

# 33 2、3号機の主復水器内滞留水 移送業務に携わったみなさん



## 1Fをよく知った人間だからこそ ここでやるべき仕事がある

原子力発電所では、電気を作る際に水蒸気を復水器という装置で冷やして水に戻しますが、震災後の1Fでは、この復水器の中に高い放射線で汚染された水が閉じ込められていました。今回ご紹介するのは、2、3号機の復水器から、滞留水を取り出すという難しい作業をやり遂げたみなさんです。

— どのように仕事を分担したのですか。

**板谷さん**：1～3号機原子炉建屋にある復水器のうち、私たちが水抜きを担当したのは2号機と3号機です。そのなかで私は工事計画や管理の仕事をしました。

**梅田さん**：2号機の水を移す準備作業をしていましたが、放射線が1年間に浴びてもよい最大値に近くなったので、その後は放射線量の低い別の現場に移って仕事を続けています。

**作山さん**：私の仕事は電気工事が主で、現場ではおもとの電源工事をしたり、監視カメラや照明関係の設置などをしていました。また、流量計や水位レベル計のような装置を、加工場で試験、確認をする仕事もしていました。

**斗沢さん**：まず、復水器から取り出した滞留水を移送するために、ホースを据え付ける仕事をしました。次に設備を作り、実際に移送作業に取り組みました。

Message  
毎日、元気な顔で「ただいま」と言えるように、  
安全第一に作業を進めていきましょう。



(写真左から)

齋藤 信一さん(東京動力) 梅田 均さん(田中計装工業)  
板谷 崇志さん(太平電業) 斗沢 仁さん(タック) 作山 学さん(三輝)

### 震災前から世話になった1Fの力になりたい

— 今も1Fで仕事を続けるのはなぜですか。

**板谷さん**：私は入社して以来、1Fで仕事をしてきました。1Fのことをよく知った人間でないと、あのような大きな事故のあとの処理はできないと思います。そして今でも、「廃炉や復興に役に立ちたい」という気持ちは変わりません。

**齋藤さん**：私も、震災前から1Fはずっと世話になってきた現場なので、離れられないというのと、地元だから少しでも力になりたいという思いです。

### お仕事内容

#### 2、3号機の主復水器内滞留水移送業務

太平電業と協力会社が2、3号機の復水器にたまった汚染水を取り出す作業を実施。2号機は5月、3号機は6月に主な作業が終わった。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください  
URL: <http://1f-all.jp/interview/33/>



釣りが趣味の梅田さん。  
3連休がとれば家族でキャンプに出かけるのを楽しみにしている

## Message

ときには作業が思うように進まないこともある  
かもしれませんが、力を合わせて頑張りましょう。



(写真左上から時計回り)

海津 博之さん 遠藤 真弘さん 石嶋 康二さん 鈴木 浩平さん